

R6年度入試 数学 解説

(1) 全体の組み合わせは 36 通り

和が 8 になる組み合わせを考えればよいので

(1 回目の目, 2 回目の目) = (2, 6), (3, 5), (4, 4), (5, 3), (6, 2)

の 5 通り

したがって, 求める確率は $\frac{5}{36}$

(2) z の値を表にまとめると

$x \backslash y$	7	6	5	4	3	2
1	⑥	⑤	④	③	②	1
2	⑤	④	③	2	①	0
3	④	3	②	①	0	①
4	③	②	①	0	①	2
5	②	①	0	①	②	③
6	①	0	①	②	3	④

表より, x, y, z の値がすべて異なるのは値に○をつけたところの 26 通り

したがって, 求める確率は $\frac{26}{36} = \frac{13}{18}$